

日本原水協活動交流ニュース

発行：原水爆禁止日本協議会 電話：03-5842-6031 2016年
FAX:03-5842-6033 Eメール：antiatom55@hotmail.com 4月11日発行

被爆者が訴える核兵器禁止・廃絶の国際署名に呼応し各地で行動

【岩手】代表理事を先頭にマイクで訴え、参加者が署名をよびかけ



岩手県原水協は4月6日、盛岡市大通で6・9行動にとりくみ、新しい国際署名の最初の行動として、街頭でのよびかけをおこないました。

ようやく暖かさを増し、新入学の高校生も通るなか、「広島・長崎の被爆者が、核兵器禁止・廃絶条約を求める国際署名をよびかけました。署名は毎年の国連総会に提出されます」と、金野耕治・渋谷靖子代表理事を先頭にマイクで訴え、参加者が署名をよびかけました。

「被爆者が訴える署名」「国連に提出署名」「ふたたび被爆者をつくるな」が新鮮に受けとめられ、女子高校生がグループで署名したり、川内原発の停止を認めない福岡高裁支部の決定に抗議の声を寄せ、「原発も核兵器もいらない」と署名する男性、子どもを抱っこした母親などから署名が寄せられました。

行動には7団体から8人が参加。40分の行動で、33人分の署名を結集しました。

(岩手県原水協)

【青森】強風のなか懸命に訴え

八戸原水爆禁止の会は4月9日、三春屋前で6・9行動にとりくみ、7人が参加しました。風がかなり強かったのですが、新しい署名なのでみなさん懸命に訴え34人から署名が寄せられました。

(新岡武信)



【愛知】原爆パネルを見ていた高校生が被爆者の声に呼応して署名
愛知県原水爆被災者の会（愛友会）の呼びかけのもと、名古屋市中区栄で4月9日、「核兵器を禁止し、廃絶する条約を被爆者の訴える国際署名へご協力を」と呼びかける6・9行動がおこなわれました。

愛知県原水協も呼びかけに応じて7人（うち被爆者4人）が



参加し、63人から署名が寄せられました。

署名行動では、原爆パネルも展示しておこないました。その原爆パネルを見ていた高校生も、被爆者の声に応じて署名してくれました。

また、車で人待ちしていた男性も「話しを聞いていたが、大切な行動だ、署名したよ」と応じてくれました。

(愛知県原水協事務局長・横江英樹)



【群馬】被爆3世が初参加 核兵器廃絶新署名スタート



前橋原水協は4月9日、6・9行動で被爆者がよびかけた新しい国際署名を初めてとりくみました。

新日本婦人の会の方たちが7人も参加し、民商、医療生協など11人で訴えました。約1時間の行動で、核兵器廃絶が69人から、「戦争法」廃止統一署名は77人から賛同がありました。

さらに嬉しい”事件”が。被爆3世の伊藤あゆみさんが参加してくれて、横断幕を持ち続けてくれたのです。終了後、伊藤さんはスピーチの原稿を用意して参加されていたことを知り、マイクを渡せなかったことをお詫び。伊藤さんは、高崎原水協の9条署名や核署名行動日には原稿を書いて自分の思いを伝えていることも知り、感動しました。今後もお願いすることに。

まとめでは「15、6歳の女の子も”戦争はイヤだ”と真剣に署名した」「コスタリカの青年が、ノーモア・ヒロシマと分かっている署名してくれた」「若い人たちが頑張ってくださいと激励してくれた」などの報告。一方で「高齢者の方には、安保法制は賛成という人もいた」「”アベもダメだ。広島も分かっている”と言うが”署名はしない”という人もいた」という報告も。というわけで、初めての新署名行動はミスがあったものの、今後につながるスタートとなりました。



(群馬県原水協事務局長・古沢孝一)

【兵庫】ドイツ人、オーストラリア人など外国人はじめ通行人から次々声かけられる

兵庫県原水協は4月9日、6・9行動をおこないました。天候もおだやかで快適な行動には、津川・筆頭代表理事（兵庫労連議長）や大森・平和委員会事務局次長などがマイク

で訴えました。

直前に民進党参院議員が同場所で街頭宣伝していたり、行動中に「大阪維新の会」(兵庫維新の会) 宣伝車が通るなど選挙モードを実感させ、こちらの訴えも、「戦争法」廃止の 2000 万署名の訴えとともに、参院選の「野党共闘」で安倍内閣を打倒しようとの熱の入ったものになりました。

参加した兵庫労連、民医連、平和委員会、AALA



連帯委、日本共産党、消費税な

くす会など 12 人が「被爆者の訴え」国際署名を訴えました。ドイツ人 2 人、オーストラリア人 1 人が話しかけてきて署名に応じました。訴えている国際署名の外国語版がないので、これまでのものを読んでもらい訴え(早く外国語版がほしい! 「国際署名」なのだから...)。特徴は、通行人の方から次々と声をかけてくること。この日の行動で新国際署名が 84 人、「戦争法」廃止署名が 43 人から寄せられました。



(兵庫県原水協事務局長・梶本修史)

平和首長会議のウェブサイトにも日本原水協の被爆者遊説 in ヨーロッパのとりくみが載る

平和首長会議の被爆 70 周年記念事業実施都市一覧(実施予定を含む)に日本原水協が昨年おこなった被爆者遊説 in ヨーロッパのとりくみが、10 月 5 日スペインのサン・クガ・デル・ヴァレスのとりくみとして載っていました。

内容は、「Centre Delàs d'Estudis per la Pau が、国際平和ビューロー、原水爆禁止日本協議会の協力の下、家島昌志さん、木村邦子さんの被爆体験聴講会を開催。グラノラーズの Josep 市長も出席した」となっています。

(愛知県原水協事務局長・横江英樹)



各地のとりくみをお寄せください。